



アドバンストペイ セゾン

パート・アルバイトの働き方にも自由度が求められる時代 人材確保、離職防止のキーワードは「給与前払い」

都内激戦区の食品スーパー（SM）の人材募集要項で見かけるようになった「前払いOK」。「前払い」とは「給与の前借り」と異なり、労働対価を給料日より前に受け取れるというもの。外食業界では当たり前の取り組みが小売業界に広がり始めている。時給アップだけでなく、多様化する雇用に対応した「前払い」が今後の人手不足対策の一手となる。

“週払い”、“前払い”がパート・アルバイト求人検索上位に並ぶ

人材派遣、飲食業などパート・アルバイトの比率が高い業種では、以前から当たり前になっている「給与前払い」システムをご存知だろうか。SM業界での導入はまだ少数だが、時給のアップだけでは、求人応募者を獲得しにくくなっている昨今、「前払い」サービスが、多くのSMチェーンから注目を集めている。

クレディセゾンの加盟店事業開発部藤井健太氏は「インターネットでパート・アルバイトの募集を探す際、どの地域でも、“週払い”、“前払い”といった、柔軟なお金の受け取り方が検索上位キーワードに並ぶ」と指摘する。

前払い資金は準備不要

同社では、4年ほど前から、「前払い」に対応する給与受取サービス「アドバンストペイ セゾン」（略称アドペイ）を提供している。「アドペイ」は、導入コスト不要、前払いするための資金準備も不要、サービスの利用料は取引1回ごとの定額・従量制だ。

パート・アルバイトの人が「アドペイ」を利用するには、スマートフォン（またはパソコン）で、企業から与えられたID、パスワードを入力、前払い可能額を確認した後、必要金額を入力（1000円以上1円単位）し、申請ボタンを押すだけ。

金融機関営業日の午前11時までの申請であれば、当日中に指定口座に振り込まれる（振込額は、前払い金額に応じた所定の手数料が引かれたものになる）。セブン銀行またはゆうちょ銀行であれば、土日祝であっても24時間365日、いつでも引き出すことができる。すべてシステムが対応するため、上長からの承認や、事情を話す必要もない。

導入企業は、専用の管理システムに従業員ごとの勤務実績を登録するだけで、アドペイを利用できる。給与支給日には、前払い利用金額を天引きした金額に従業員へ給与として支給し、前払い利用金額はクレディセゾンへと精算する。そうすることで、キャッシュフローに影響は発生しない。また、日々の店舗の売上から仕入れ代金を充てることの多いSM企業にとっては、キャッシュフローに影響を与える心配のない前払い資金の立て替え不要は、導入を後押しする動機づけにもなる。

パート・アルバイトの離職防止にも効果

アドペイ同様の前払いサービスを提供する企業は30社程度あるが、ここ最近、他社サービスから、アドペイへの切り替えが増えているという。「前払資金の準備、利用料負担（従業員、導入企業）、振込先口座の自由度といった点から、当社に切り替えていただいている



株式会社クレディセゾン
加盟店事業開発部
藤井健太氏

ようだ」（同）。

アドペイ導入はいざという時のセーフティネットとなる。そこで働くパート・アルバイトにとっては、SM企業が自分たちのことを慮ってくれているという証になる。

コロナ禍により、人材の受け皿になっていた業種・業界からの求人が縮小し、SM企業の人材採用には追い風となった。現状、コロナ収束のタイミングは見えないままだが、ある大手SMチェーンの経営トップは「コロナ後の人材採用はコロナ前より厳しくなる。そのための手を打っておく必要がある」と現場に警鐘を鳴らす。SM企業にとって「アドペイ」導入は、福利厚生サービスの拡充以上の意味をもっている。

